

SBTシリーズ最新技術と、初の4アウトプット4セパレートの完全セパレート構造を実現したハイエンドモデル！

SBT-4X4



本来の電源タップの役割とは・・・？

機器が増えることで、コンセントが足りなくなるのでたくさんの機器が使用出来るよう電源を複数に分配するものです。オーディオ用となれば、ノイズリダクション回路やアイソレーショントランス回路があるものなど色々ありますが、音を濁す根源の高周波ノイズは「誘導」して簡単に混入してしまいます。

まずは、壁コンセントの元からは多くの高周波ノイズ（※1）が混入しています。

また、オーディオ機器それぞれも高周波ノイズを多く出す回路があり、逆にアンプなどはノイズに対して弱い機器もあります。色々な機器が同じコンセントから給電されることで機器同士がノイズ干渉を受けてあててしまいます。

それらの盲点が、音質に多大な影響を及ぼしていることをご存じでしょうか？

機器間のノイズ干渉を飛躍的に抑えた独立シングルアウトレット仕様！

最近では、スマホの普及率は98%、Wi-Fiの普及率は家庭内で80%を超えています。（※1）

それらは全て高周波の電波を使用している関係で、電源やケーブルなどオーディオ機器のあらゆる箇所がアンテナとなって誘導されています。その影響で耳には聞こえないので問題視されてはいませんが、オーディオの音質に大きな影響を与えていることが近年明らかになってきました。

また、オーディオ機器自体もネットワークプレーヤーなど高周波ノイズを発生しており、アンプなどは高周波ノイズの混入により影響を受けています。高周波ノイズは電気的に遮断しても誘導してしまうので、高周波ノイズ抑制技術が音質に対して大きなカギとなっております。当社の電源タップは、そういった高周波ノイズを効果的に誘導減衰できるよう多くの技術が搭載されています。



（画像左）
航空機アルミ合金製
SRリジッドマウント



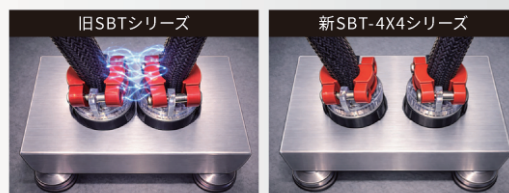
（画像右）
ノイズ吸収サークル

電源混入ノイズも機器間のノイズ干渉も、これ一台で解決！高S/Nサウンド！！

筐体には航空機グレードのアルミ合金を使用し、高周波ノイズを大幅に誘導吸収。更には素材をマシニングセンターによりモノブロックから削り出して、高周波ノイズが漏れない様、精密かつ隙間ない構造。内部配線には全てルテニウムを使用し、接点ノイズを含む量子ノイズが大幅に減少。内部には余計な接点が無いよう電気的な回路は一切なく、全て誘導フィルターによって処理をしているので部品劣化がありません。

そして導体やインレット及びアウトレット、筐体にも ULTRA SZ 処理が採用されており、量子ノイズを飛躍的に低減させています。各セパレート部分には全てのワイヤリングにノイズ誘導サークルを通して驚異的なノイズ誘導を実現し、機器間の高周波ノイズ干渉が究極的に受けないような構造となっております。

オーディオ機器の本来持っている性能ポテンシャルを余すことなく引き出すために設計された、最高のパワータップです。

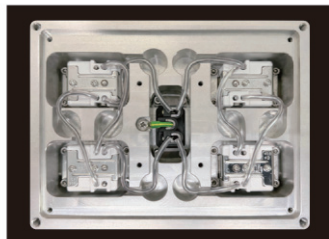


高周波電磁波ノイズ干渉イメージ

【SBT-4X4の特徴】



インレット&アウトレット&
航空機アルミ合金製SRリジッドマウント



SBT-4X4 内部構造

- 4アウトレット完全4セパレート構造と全てのノイズ誘導スペース採用。
- ノイズ混入を無くす緊ぎ目の無い超高精度、航空機グレードアルミ合金モノブロック削り出し筐体。
- 30mmのノイズカバー設計をインレットとコンセント全てに採用。
- 全てのワイヤリングに独立したノイズ誘導サークルを採用し、機器間のノイズ干渉を抑制。
- 微動だにしない振動抑制、ソリッドリジッドマウント方式（SRマウント）をインレット及びアウトレットの固定方法に採用。
- インレット（ロジウムメッキ）、内部配線、コンセント（Niメッキ）など給電部全てに「ULTRA SZ」を採用。
- 量子ノイズを極限に抑えたルテニウム内部配線採用。
- 振動処理に物性処理スパイク&スパイク受けを採用。
- 寸法 / 200mm×150mm×70mm（スパイク除く）
- 重量 / 約 4.4kg

SBT-4X4

※価格は別紙プライスリストをご確認下さい